



「VG 槻輪だより」
第200号の発行
誠にありがとうございます
12月15日

心からお祝い申し上げます。

大岡会長をはじめ会員皆様の長年にわたる活動成果であり、交流の賜物だと感服いたしております。大岡会長とは10数年前、私が市役所に勤務していた折に、市内の見学場所などの相談にいられたのが出会いの始まりだったと思います。

その際「まちづくり講座終了後、有志が集まりまちづくりに役立つ活動を何かしたい」とや「それにはまず自分の住むまちを知ることから始めたい」



高槻市議会議場
見学風景

「槻輪というグループ名への思い」など熱く語る

れたのが今でも強く印象に残っています。

その後VG 槻輪の活動報告という形で「VG 槻輪だより」を創刊されました。それがついに200号にまで続いていることに感慨深い思いがします。



VG 槻輪創設 10周年記念
写真中央 藤岡敏文氏

去年はコロナもあり思い通りの活動ができなかったと思います。それでも会員皆さんの気持ちは萎むことなく様々な活動を継続されておられることを知り大変嬉しく思っております。

最近では健康寿命を延ばすことが重要と言われていきます。そのためには、歩くなどの適度の運動と脳への刺激がなによりも大切です。グループの活動はうってつけです。これからも大岡会長をはじめ会員皆様のご健康とVG

槻輪の更なる息の長い活動をお祈りしお祝いの言葉とさせていただきます。

元高槻市職員
藤岡 敏文

※編集部メモ

藤岡敏文氏は、高槻市の各部の要職に居られました。市民相談室長の時に「VG 槻輪」の「わがまち紹介」活動の訪問先をお聞きし、いかに自分の住んでいるまちの事を知らないかを痛感しました。

中央図書館長の時に、市の図書館で「VG 槻輪だより」を市民の皆さんに読んで頂けるようになりました。



「VG 槻輪だより」

創刊二百号、心からお祝い申し上げます

槻輪の皆様のご活躍は、

「VG 槻輪のホームページ」に掲載されている「槻輪だより」などで拝見させていただいています。

いつも楽しい活動の様子に、私ももう少し頑張ってみなくてはと、励まされることしばしばです。



たかつきふれあいひろば
VG 槻輪はユニフォームで
フリーマーケット出店

わがまち高槻を知り、さらには周辺地域へ足をのばして歴史や街並みを尋ねる催し、そして社会貢献のボランティア活動と本

当に守備範囲の広い取り組みは、地域に根ざした市民活動の原点を示すものであると思っております。コロナ禍の困難な時期ではありますが、これからも槻輪の皆さまがお元気で活躍されますことをお祈りしています。

元コミュニティ推進課
課長 米谷章



VG 槻輪親睦会にて
折り紙を楽しむ
2012年出灰の別荘にて

会報「VG 槻輪だより」
記念200号発行
大変おめでとうございます
御座います

一人一人の力が集まれば、大きな輪となり力となることを実践してこられた事は、大変意義深い事と思えます。

市民公益活動サポートセンターへ「会」設立準備の為に通い、奔走された様子、「会」発足後の会合で、楽しそうな、生き生きとした笑顔で意見交換されていた様子、つい昨日の事のように思い出しています。

ア活動を長く維持・継続していく原点の一つが「愉しく」活動することだと、今更ながら教えられた気がします。

住み良い、豊かな街づくりのために、より一層活動される事を願いつつ、会長さん、会員の皆様方のご健勝を陰からお祈り申し上げますと共に、ささやかですが、「お祝い」を同封させて頂きます。記念号発行準備費用の一部に利用して頂ければ幸いです。

元コミュニティ推進課
担当 中村賢二



第2回 NPO フェスタ展示
VG 槻輪創設 10周年記念に出席の
右から：中村賢二氏、米谷章氏

※編集部メモ

VG 槻輪では、コミュニティ推進室を我々の生みの親だと、よく言っています。

いつもご支援・ご指導に感謝しています。

時の経つのは早いものですが、会を長年にわたり維持、継続することは、会長さん、会員の皆様方の大変なご尽力があったものと思えますが、ボランティア